

特定非営利活動法人アクションポート横浜 2018年度事業報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

1：市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト

(1) 横浜サンタプロジェクト

企業・NPOと連携して実行委員会を結成し、横浜に笑顔をプレゼントするというテーマで、サンタに扮して4つの企画に分かれ活動を行った。当日に向けて企業に働きかけ車や物品の提供をお願いし、活動に参加しやすい土壌をつくることができた。本年はみなとみらい線との連携が始まるなど、内容充実をはかった。

実施内容

日時：2018年12月8日（土）12：00～16：00 実施

場所：パシフィコ横浜円形広場集合→各地で活動

プロジェクト参加者数：1409人 *サンタ・子ども達総数

- ・訪問サンタ：横浜市内の5施設にオープンカー等でサンタが訪問。
- ・広場サンタ：パシフィコ横浜円形広場にて、子どもが楽しめるサンタステージ企画やブース企画を実施。
- ・ドライブサンタ：子どもたちを対象にオープンカーのミニドライブ体験を実施。
- ・清掃サンタ：横浜にキレイをプレゼント！サンタになって清掃活動を実施

主催：横浜サンタプロジェクト実行委員会

アディエント合同会社、株式会社安藤建設、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社、株式会社エムビーエス、オーバーカム、神奈川県印刷工業組合、特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ、ゾーホージャパン株式会社、株式会社太陽住建、株式会社DSC、株式会社デザインアーク、東京キリンビバレッジサービス株式会社、株式会社野毛印刷社、ファイナンシャル・ジャパン株式会社、横浜市社会福祉協議会、一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会、特定非営利活動法人横浜市民アクト、特定非営利活動法人アクションポート横浜

2：市民や市民活動団体の地域の課題解決やそのための組織運営を支援するプロジェクト

(2) ヨコハマ市民まち普請事業

横浜市都市整備局地域まちづくり課との協働事業。市民が主体となった身近なまちのハード整備に関する提案を募集し、2段階の公開コンテストで選考された提案に対して、最高500万円の整備助成金を交付するなど、市民のまちづくり活動への支援を行う事業。

実施内容

○ヨコハマ市民まち普請事業部会運営（二次コンテスト対象提案事前視察含む）

○一次コンテスト：7月14日（土）@（一社）横浜みなとみらい21 プレゼンテーションルーム

○活動懇談会：9月8日（土）@横浜市市民活動支援センター

○二次コンテスト：1月26日（土）@横浜市市民活動支援センター

○まちづくりびと全員集合！！（整備成果報告会、まちづくりフォーラム）：

2月16日（土）@横浜市市民活動支援センター

○整備事例集の制作、都市整備局地域まちづくり課の広報誌「ヨコハマ人・まち」の企画・制作

○都市整備局地域まちづくり課“公認”Facebookページ『ヨコハマ市民まち普請ひろば』の運営

(3) 神奈川県団体成長支援事業サポート

受託した NPO 法人サービスグラントの運営サポートとして事業に参画した。

3 : 市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート

(4) 地域企業インターンシップ

本年度は、主に市内の学生の受け入れを希望する地域企業の相談対応を行った。

横浜中華街パーキング協同組合：学生 1 名（横浜市大 2 年生）

(5) アクションフォーラムの開催

理事会発案の新企画として、横浜を中心とした様々な領域の市民活動や地域活動等に関わっている当事者から、地域づくりに資する情報や知見を提供する隔月開催の連続セミナーを開催した。2018 年度は 3 回実施。

・ 2018/09/21 (金) 19:00 - 21:00

横浜サンプラザプロジェクト～地域貢献プロジェクトにおける企業参加の意義と可能性～

・ 2018/11/16 (金) 19:00 - 21:00

NPO インターンシップはメジャーになれるか？～NPO インターンシップ・ラボ発足にあたって～

・ 2019/01/25 (金) 19:15 - 21:00

CSR 活動に見る 企業×NPO 最前線 ～地域における新しい可能性を探る～

(6) 盆栽カフェ

盆栽を通じた地域でのコミュニティづくりや文化の発信を目的に、石井造園株式会社との協働で「盆栽カフェ」の運営を行った。

(7) 企業からの相談対応・コーディネート

企業の社会貢献活動や地域参加への相談に対応し、必要に応じて企画の実施や運営を行った。

(8) 10周年パーティの実施

2018 年度は新体制になることも踏まえ、これまでの 10 年と今後の 10 年を会員の皆さんと考える場を作った。

日時：8 月 4 日（土）13:30-17:00 場所：BUKATSUDO 参加者：112 名

(9) ツナカンハウス

毎月 1 回、神奈川県民センターを使用し、交流会を開催。学生や会員の交流の場と相談を持ち寄る場となった。

4：市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成

(10) NPO インターンシップ

県内大学と連携を図り、学生がNPOに一定期間インターンシップ活動を実施した。10日間の体験コース（短期）と6か月の実践コース（長期）の2種類のインターンシップを実施した。トヨタ財団イニシアティブ・プログラムの支援を受けて実施することができた。

	参加者
10日間の体験コース（短期）	69名
6か月の実践コース（長期）	8名

参加大学：10大学

横浜国立大学、横浜市立大学、桜美林大学、神奈川大学、フェリス女学院大学、関東学院大学、横浜商科大学、明治学院大学、専修大学、横浜美術大学

参加NPO：24団体

NPO法人アークシップ、NPO法人アクト川崎、NPO法人WE21ジャパン、NPO法人STスポット横浜、大倉山おへそ、片倉うさぎ山公園管理運営委員会、NPO法人教育支援協会南関東、NPO法人ぐらす・かわさき、NPO法人グリーンママ、コトラボ合同会社、NPO法人さくらザウルス、障害者自立生活センターIL・NEXT、NPO法人地域生活センター・NPO法人新、NPO法人地球市民ACTかながわ、NPO法人びーのびーの、NPO法人ピッピー・親子サポートネット、NPO法人みどり福祉ホーム、NPO法人森ノオト、NPO法人横浜NGOネットワーク、横浜コミュニティデザイン・ラボ、横浜自然観察の森、NPO法人横浜市民アクト、NPO法人アクションサポート横浜

プログラム

- ・団体と大学の懇談会：6月2日（土）11:00-11:45
- ・事前研修会：（1回目）6月2日（土）10:00-12:00（2回目）7月7日（土）14:00-16:00
- ・NPOとのお見合い会：6月2日（土）13:00-17:00
- ・短期インターン成果報告会：10月27日（土）13:00-17:00
- ・長期インターン成果報告会：3月1日（金）14:00-17:00

●NPO インターンシップ継続のための寄付集め

目標金額 60万円 寄付総額 30.7万円（達成率51%） 寄付者人数 18人 協賛団体 3団体

(11) NPO インターンシップラボ

NPO インターンシップを運営している団体、またこれから運営したい団体が集まり、“NPO インターンシップラボ”というネットワーク組織を立ち上げた。トヨタ財団様の助成を支えに、9月には駒澤大学でシンポジウムを開催し、63名が集まった。今後もNPO インターンシップラボは、地域と若者をつなぐインターンシップの連携や発展、活性化し合う場づくりをすることを目的に活動を行っていく。

実施内容

○シンポジウム実行委員会の開催

5月23日(水)、6月12日(火)、7月4日(水)、7月31日(火)、8月21日(火)

○NPO インターンラボ キックオフシンポジウム

日時：9月15日(土) 14:00~17:30 会場：駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館 301 教室

参加者 63名(一般：32名、関係者：31名)

○市民セクター全国会議 ランチセッション

日時：11月23日(祝金) 12:10~12:50 会場：聖心女子大学 4号館/1階のワークショップスペースE

参加者 38名

○勉強会

<1回目>

日時：1月30日(水) 19:00~21:00 会場：地域連携ステーション フミコム C-base

参加者：18名 事例報告：CSO ラーニング制度(公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団)

<2回目>

日時：3月20日(水) 19:00~21:00 会場：浦和コミュニティセンター IT 研修室

参加者：12名 事例報告：一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校のインターンシップ

<世田谷勉強会>

日時：3月26日(火) 19:00~21:00 会場：せたがや文化財団 生活工房 セミナールームB

参加者：17名

○白書づくり

就職を目的としたインターンシップではなく、若者の成長や団体・地域の活性化を目的としたインターンシッププログラムを「地域系オルタナティブインターン」と名付け、初めての実態調査を実施。

○チラシ&リーフレットの作成

(12) ライフキャリア事業

神奈川県人権男女共同参画課委託事業。社会に出る前の若年層が自ら望む生き方を選択し、豊かなライフプランをデザインする力を育成することを目的に、ライフキャリア教育出前講座やロールモデル事例集の作成を行った。

実施内容

○出前講座の企画・実施

<県立釜利谷高校>

実施日：11月27日（火） 5時間目（13：25～14：15）、6時間目（14：25～15：15）

会場：釜利谷高校 体育館 対象学生：1学年 男子128名、女子152名

<県立磯子工業高校 定時制>

実施日：1月22日（火）17:45-19:05 会場：磯子工業高校ラウンジ 対象学生：14名

<県立光陵高校>

実施日：3月2日（土） 13：20～14：10 会場：光陵高校 教室 対象学生：男子8名、女子8名

○普及啓発用リーフレットの作成

○ロールモデル事例集の企画・作成

「MEET ME BOOK ロールモデル編」の拡充版として、既に社会に出て活躍している若手社会人に取材し、そのインタビュー等の内容を写真と共に掲載した事例集を作成した。

(13) 学生企画エコツアー

公益財団法人資源循環公社との連携事業との横浜市内の大学生が企画運営をする環境活動の現場を体験するバスツアーを開催した。

日時：9月6日（木）10:00-16:00 訪問先：南本牧処分場・海の公園 参加者：32名

(14) YOKOHAMA ACTION PLANNNER との連携

市内NPO法人の広報支援プロジェクトを3件実施。およそ10名の社会人が参画したほか、地域を知る・楽しむにつながる自主活動を企画・運営した。

(15) 若手スタッフ育成プロジェクト「SNAP」（横浜市市民活動支援センター自主事業）

地域活動の次世代を担うNPO及び中間支援組織の若手スタッフ育成を目的に、3か年計画で事業推進をした。2年目の本年度は、ゼミのメンバーで議論を進め、人材交流による人材育成プログラム「かばん持ち」企画を行い、交流会でその知見を発表した。

実施内容

○メンバー固定の「自主ゼミ」を全5回（7/30、8/20、10/9、10/30、11/21）を開催。

○ゼミメンバーだけでなく、外部の人も参加可能な学習会であるセミナーを2回開催した（9/19、3/6）。

○ゼミで重ねた意見交換とかばん持ちプログラムの発表する交流会を開催。また、それ以外にも神奈川県内で活躍する多世代異分野のNPO職員によるパネルディスカッションを行った。3/17@リスト株式会社関内本社

5 : その他、目的を達成するために必要な事業

●ツナカンインタビューがスタート

現役学生による卒業生インタビューがスタート。今後アクションポートでの活動が社会人生活にどうつながっているかを発信していく。

●講演等の実績

5/7 神奈川大学 NPO インターンシップ説明

5/9 駒沢大学「ボランティア経済論」ゲストスピーカー

5/10 横浜美術大学 NPO インターンシップ説明

5/11 桜美林大学 NPO インターンシップ説明及びアクションポートの紹介

5/14 フェリス女学院大学 NPO インターンシップ説明

5/15 産能大学「社会貢献とボランティア」ゲストスピーカー

5/18 横浜商科大学 NPO インターンシップ説明

6/7 フェリス女学院大学「資源問題」ゲストスピーカー

7/3 横浜市立大学大学院 影山ゼミ 「社会経済論特論」ゲストスピーカー

7/10 横浜国立大学「NPO 論」ゲストスピーカー

7/16 米澤ゼミ 横浜の市民活動について紹介

7/19 人むすびの場 NPO インターンシップについて

8/23 びーのびーの スタッフ研修会講師

9/17 かながわ県民活動サポートセンター所長と語るティーパーティ登壇

10/5 NPOCROSS 記事投稿

11 月 神奈川県社会福祉協議会「子ども・若者の居場所づくり事例集 2018」に掲載

11/20 神奈川県社協主催「子ども若者居場所フォーラム」 事例報告

1/8 松蔭大学ライフキャリアセミナー

1/11 東京工芸大学ライフキャリアセミナー

1/12 横浜商科大学鶴見区政策コンペ 審査員

1/17 いずみ区民活動センター主催「地域活動のための資金調達セミナー」講師

1/21 洗足学園短期大学ライフキャリアセミナー

2 月 トヨタ財団 広報誌 JOINT 掲載